

平成 27 年度 支援センターみらい
事業報告

前回の理事会で承認いただいた、ふつーる撤退の進捗状況。現在、関係機関に助成金の精算などに関する調査を行なっているところ。利用者・家族対象の説明会を実施。

【概況】

今年度は中・長期計画の 1 年目にあたり、実施事項の一つである「グループホームの運営手法の検討」について検討委員会を立ち上げ、7 月から 12 月にかけて計 10 回委員会を開催し、運営にかかる様々な案件や課題を検討しました。各事業の概況は以下のとおりです。

1. 就労移行支援事業所ふつーるは、1 名が一般就労されました（その他内定 4 名）。利用者状況は、延べ在籍者数 11 名、入所者 5 名、退所者 5 名（一般就労による退所が 3 名、転居による退所が 1 名、利用期限による退所が 1 名）です。利用者が少ない中ではありますが、一定の就労実績をあげることができたと考えています。新規利用については、相談支援事業経由に加え、ふつーるから一般就労されていた方が退職され、再び利用をされるケースが出てきています。新規利用者の獲得は厳しい状況が続いており、平成 30 年度には法定雇用率の改定が予定されているため、定員確保についてはより一層厳しい状況になることが予想されます。

2. グループホーム事業では、職員体制が整わず、みらい・第 2 みらいに職員を派遣してもらいながら運営をしてまいりました。そのこともあり、事業収支は黒字で推移しましたが、利用者支援としては安定感を欠き、一貫性のないものになったと考えています。また、支援を全体的に実施するための体制が構築できていないことや、支援員や世話人の高齢化が課題となっており、安定的に支援を提供するためには、これらのことが喫緊の課題となっています。末広ホームにおいては、物件売却の申し入れが家主よりなされ、やむを得ず購入する運びとなりました。スプリンクラーの設置については、助成金の動向を見ながら対応してまいりましたが、今年度についてはそういった動きがなかったため、特に対応はしておりません。

3. 相談支援事業所みらいでは、計画相談契約件数が 158 件（法人内の契約は 87 件）となっており、他事業所での計画作成やセルフプランを含めると、法人内のケースはほぼ作成済みとなりました。法人外のケースは困難事例の割合が高く、対応に人手と時間を要することも多いため、サービス等利用計画の管理・作成なども含め、業務が後手に回ることもありました。地域移行・地域定着支援における契約はありません。また、今年度も自立支援協議会や相談支援ネットワーク「えん」へ積極的に参加し、本市における相談支援の課題について検討を行ないました。

4. ヘルパーステーションあしすとの利用状況は、移動支援が前年度比約 35% 増、居宅介護は 21% 増となりました。増加の要因としては、新規契約に伴う利用増と一人あたりの利用時間増が考えられます。今後の課題は、例年同様にヘルパーの確保と平日の稼働数向上が挙げられます。

以上が概況ですが、各項目の詳細については後述のとおりです。

就労移行支援事業ふつーる

1. 利用者状況（平成 28 年 3 月 31 日現在）

(1) 在籍状況

男性 4 名 女性 5 名 合計 9 名
 ・入所 3 名（在宅 3 名）
 ・退所 2 名（一般就労 1 名、転居 1 名）

(2) 出席状況（各月初値）

101/240(人) 年間在籍率 42% 出席率 80%
 平均年齢 30.7 歳(19 歳から 47 歳)

	4,5 月	6~8 月	9~3 月	合計
男性	4	4	4	48
女性	3	4	5	53
合計	7	8	9	101

(3) 障害程度

①療育手帳

A	0
B 1	6
B 2	3

②精神障害者保健福祉手帳

1 級	0
2 級	2
3 級	0

③障害支援区分

区分	人数
1	0
2	2
3	1
4~6	0
なし	6
計	9

2. 日課・週間プログラム

【日課】

午 前		午 後	
9:00～9:20	登所・更衣	12:00～13:00	昼食・休憩 (喫茶は11:30から交代制)
9:20～9:30	朝礼	13:00～16:00	活動(適宜休憩)
		16:00～16:20	更衣
9:30～12:00	活動(適宜休憩)	16:20～16:30	終礼・降所

【週間プログラム】

	月	火	水	木	金
午 前	喫茶 みらい清掃	喫茶 川瀬彦	喫茶 みらい清掃	喫茶 川瀬彦	喫茶 みらい清掃
午 前	喫茶 みらい清掃	喫茶 川瀬彦	喫茶 みらい清掃	喫茶 川瀬彦	喫茶 みらい清掃

○マドレーヌ販売…くらしかん(月2回)、国際交流センター(月1回)

○豊島高校清掃…月4回(不定期) ○社会技能訓練…随時

3. 職員体制等

常勤職員：管理者(1) サービス管理責任者(1) 就労支援員(1) 事務員(1)
非常勤職員：職業指導員(1) 生活支援員(2)

4. 建物・設備維持管理

- ・消防設備点検…7/7、12/21(リタテクニカ)
- ・害虫駆除…4/16、6/18、8/17、10/15、12/17、2/18(ファシテック広洋)
- ・全館清掃…12/5(ファシテック広洋)

5. 車両管理・送迎管理

【車両管理等】

	キャラバン	ムーヴ
車 検	なし	平成28年1月

【修繕等】

(キャラバン)

11月 ラジエーター交換

(ムーヴ)

9月 ドアノブ交換

【送迎管理】

特別送迎

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
利用回数	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

歯科通院にて特別送迎を実施。

利用者1人 年間利用回数2回

6. 年行事等

日にち	行事名	行先・場所	参加人数	特記事項
5/17	余暇活動(外出)	るり溪温泉	8	バーベキュー
8/22	余暇活動(外出)	京都水族館	6	
10/9	スポーツフェスタ	豊島体育館	7	
11/12	宿泊訓練	三重 (伊勢志摩など)	6	
12/23	余暇活動 (クリスマス会)	福祉センターひまわり	8	調理実習
2/20	余暇活動(外出)	ラウンドワンスタジアム千日前	7	ボウリングなど

7. 健康管理

- ・健康診断：6/16、23、30 に山口記念診療所にて実施 (利用者8名)
- ・インフルエンザ予防接種：10/30、11/20、11/24 (利用者6名)
- ・厨房業務は月1回の検便実施

8. 防災

日にち	内容	参加人数
8/7	避難訓練 (火災)	7
1/22	避難訓練 (火災)	8

9. 活動支援の取組み

① 就職（1名）

10月…豊中市環境部中部事業所

② 雇用前実習（4名）

- ・豊中市環境部中部事業所 …9/15～17
- ・大都美装 …2/17～3/1
- ・株式会社きると …3/1～3
- ・オリックスリビング（千里ひなた）…2/22～3/4
- ・オリックスリビング（池田緑丘） …3/9～18

③ その他

- ・社会技能訓練（マナー講座、履歴書の書き方、面接の受け方、就職フェアへの参加など）
- ・喫茶（接客、製菓、出張販売）
- ・企業実習（川瀬彦）
- ・清掃実習（みらい、豊島高校）
- ・施設外実習（水道局敷地草抜き）

※平成27年度売上総額 1,488千円

内訳：喫茶業務 43%、清掃業務 43%（みらい 19%、豊島高校 24%）

企業内実習 11%、その他 3%

10. 広報・実習

【支援センターみらい通信の発行】

支援センターの活動内容を、ご家族や関係者などに知って頂くことを目的に、3回発行した。

	号	発行日	部数
1	第10号	4/20	450部
2	第11号	11/19	450部
3	第12号	3/1	450部

【利用体験実習】

- ・豊中支援学校 3名（8/10～12、8/24～26、12/14～16）

【体験利用】

- ・豊中支援学校 1名（8/19～21）

【支援者実習】

- ・明光ワークス（女性）…9/15～16

11. 苦情対応

- ・施設運営及び事業実施に関する苦情等を調整・解決をする窓口として、苦情受付担当者を1名配置。苦情は、意見箱をはじめ面談の場や連絡帳でも受け付けている。

12. 職員研修・会議等

【職員研修】

- ・事業計画に基づき、特定の職員に偏らず、また人権関連から専門的研修まで幅広い分野を対象に、研修実施に努めた。

日にち	研修名	主催	テーマ等	場所/会場	参加者
7/7 7/14	成人施設課程基礎コース	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会		大阪社会福祉指導センター	小林
8/17 ～18	施設間留学	市内施設長会		多機能型事業所 あすなる	小林
9/10	障がいのある人の アセスメントの視点 と手法	一般社団法人 Me 2		豊中人権街づくり センター 豊中保健所	飯田 池田
9/11	法人全体研修 「風通しの良い施設 とは」	サービス向上 委員会		第2みらい	
11/4	施設階層別における人 権研修	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会		大阪府社会福祉会館	飯田
12/11	法人全体研修 「メンタルヘルス」	豊中親和会		第2みらい	
3/14	食品衛生責任者養成 講習	大阪食品衛生 協会		薬業記念会館	池田

【会議等】

会議名	回数	開催期日、構成員等
運営会議	12	毎月1回（センター長・主任）
センター会議	12	毎月第1木曜日（センター長、主任、ふつーる職員）
ふつーる会議	12	毎月最終木曜日（センター長、主任、ふつーる職員）

*その他 虐待防止の仕組み作り検討委員会 9回
 グループホーム運営検討委員会 10回
 所属長会議（センター長）、市内施設長会議（センター長）
 サービス向上委員会（主任、他）、個別支援計画会議（主任以下）
 自立支援協議会関係会議（主任）

栗ヶ丘ホーム（共同生活援助）

1. 利用者状況（平成28年3月31日現在）

(1) 在籍状況

栗ヶ丘ホーム：男性3名、女性1名
 末広ホーム：男性5名
 若竹ホーム：女性3名
 桜塚ホーム1：男性3名
 桜塚ホーム2：男性3名
 桜塚ホーム3：男性2名
 旭丘ホーム：男性4名
 桜塚ホーム5：女性3名 合計27名

(2) 利用状況

栗ヶ丘ホーム：1279/1460（営業日×4名） 利用率87.6%
 末広ホーム：1184/1295（営業日×5名） 利用率91.4%
 若竹ホーム：892/1464（営業日×4名） 利用率60.9%
 桜塚ホーム1・2：1411/1482（営業日×6名） 利用率95.2%
 桜塚ホーム3：691/1098（営業日×3名） 利用率62.9%
 旭丘ホーム：630/968（営業日×4名） 利用率65.0%
 桜塚ホーム5：692/1098（営業日×3名） 利用率63.0%

2. 職員体制等

管理者 1 名（兼務）、サービス管理責任者 1 名（専任）、事務員 1 名（兼務）

- 栗ヶ丘ホーム：生活支援員 1 名（月～金）
生活支援員 1 名（土）
生活支援員 1 名（日）
世 話 人 1 名（月～土）
- 末 広 ホ ー ム：生活支援員 1 名（月、火、金）
生活支援員 1 名（火、水、金）
生活支援員 1 名（月、木）
世 話 人 1 名（月～金）
- 若 竹 ホ ー ム：生活支援員 1 名（月、火）
生活支援員 1 名（水～金）
生活支援員 1 名（土）
生活支援員 1 名（日）
世 話 人 1 名（月～木）
- 桜塚ホーム 1・2：生活支援員 2 名（月～金）
世 話 人 1 名（月～金）
- 桜塚ホーム 3：生活支援員 1 名（月、金、土）
生活支援員 1 名（火～木、日）
世 話 人 1 名（月～金）
- 旭 丘 ホ ー ム：生活支援員 1 名（月、火、金）
生活支援員 1 名（水、木）
世 話 人 1 名（月～金）
- 桜塚ホーム 5：生活支援員 1 名（日）
生活支援員 1 名（月、金）
生活支援員 1 名（火、木）
生活支援員 1 名（水、土）
世 話 人 1 名（月～金）

計 生活支援員 16 名・世話人 7 名

3. 建物・設備維持管理

- 栗ヶ丘ホーム：ベランダ防水補修、外壁防水補修、植木剪定
- 末 広 ホ ー ム：居室壁補修、洗濯機修理、植木剪定
- 若 竹 ホ ー ム：外壁防水補修
- 桜塚ホーム 2：浴室扉修理

旭丘ホーム：居室ガラス戸補修
全ホーム：消防設備点検（年2回）

4. 送迎管理

土曜日の午前中を基本とし、支援センターのキャラバン（10人乗り）及び第2みらいキャラバン（10人乗り）を使用して、ホームから自宅等への送迎を実施。

運転業務（1名）を直接雇用し、添乗業務（1名）をシルバー人材センターに業務委託。

栗ヶ丘・末広：第2・第4土曜日（センターキャラバン）
桜塚1.2・桜塚3：第1・第3土曜日（第2みらいキャラバン）
旭丘・桜塚5：第1・第3土曜日（センターキャラバン）

5. 年行事等

各ホーム余暇支援を3回実施。行先は、都度各ホームにおいて利用者と話し合い決定している。必要に応じて、センターキャラバンを使用。

6. 健康管理・給食

【健康管理】

毎朝の検温、各利用者の服薬管理はもとより、排便、排尿の確認など、常に利用者の健康管理に配慮。また、利用者が体調を崩した際は、ホーム、センター、日中事業所、ご家族等と連絡をとり、早急に対応するよう努めた。

【給食】

夕食・朝食とも世話人が、基本的には当日購入した食材をその日のうちに調理し提供するように努めた。また毎月1ヶ月分の献立を作成し、栄養バランスを考えた食事の提供に努めた。

末広、旭丘、桜塚5については食材宅配サービスを利用し、夕食の提供を行った。献立がある程度決まっているため、世話人の交代などによる食事への影響は少ないと考えているが、他ホームと比べ1食あたり100円ほど食費が高くなっている。

7. 防災

各ホームにおいて地震や火災を想定し、避難訓練を年3回実施した。

8. 活動支援の取組み

各ホームで独自に工夫して取り組んでいる。散歩や買い物に出かけることで運動の機会を提供したり、調理補助や洗濯物干し等、ご自分でできることに取り組んで頂いたり、生活力の向上にも努めた。カラオケやゲーム、テレビ等、余暇支援も行った。

9. 広報活動

【支援センターみらい通信の発行】

支援センターの活動内容を、ご家族や関係者、近隣住民の皆さんなどに知って頂くことを目的に、3回発行した。

	号	発行日	部数
1	第10号	4/20	450部
2	第11号	11/19	450部
3	第12号	3/1	450部

【地域交流】

栗ヶ丘ホームでは地域のお祭りに参加させていただき、交流を図った。桜塚府営住宅のホームでは、自治会活動へ積極的に参加した（敷地内の公園や団地周辺の定期清掃など）。

10. 苦情対応

施設運営及び事業実施に関する苦情等を調整・解決をする窓口として、苦情受付担当者を1名配置。苦情は、意見箱をはじめ家族会の場合でも受け付けている。

申出者	苦情内容要旨	対応
ご家族	グループホームの同居人からの他害行為が改善されていない。【末広】	職員2名体制であるため、支援員室を2階へ移すことで、1階・2階それぞれに夜間の職員を配置した。
ご家族	2月1日(月)から5日(金)まで微熱が続いた状態だったが、週末まで家族に連絡が無かった。また、連絡も連絡帳で電話ではなかった。体調不良は家族に速やかに電話で連絡をしてもらいたかった。【末広】	微熱が2日以上継続した場合は必ず家族に連絡をする。3日目に別の職員が勤務になる場合は、引継を徹底しておく。

11. 職員研修・会議等

【職員研修】

日にち	研修名	主催	テーマ等	場所/会場	参加者
6/5	感染症・食中毒予防対策講習会	福祉と人権の研修ネットワークおおさか	食中毒予防対策	吹田市文化会館大ホール	橋本
7/6	さまざまな人権問題に関する研修会	福祉と人権の研修ネットワークおおさか	障害者虐待と人権	大阪社会福祉会館	磯中
9/11	法人全体研修	サービス向上委員会	風通しの良い施設とは	第2みらい	
10/1	GH事業者連絡会研修	GH事業者連絡会	世話人・支援員の役割について	ひまわり	全ホーム職員
12/11	法人全体研修	豊中親和会	メンタルヘルス	第2みらい	
1/29	GH事業者連絡会研修	GH事業者連絡会	ストレスマネジメント	ひまわり	全ホーム職員

【会議等】

会議名	回数	開催期日、構成員等
運営会議	12	毎月1回（センター長・主任）
センター会議	12	毎月第1水曜日（センター長、主任、サビ管）
ホーム会議	12	毎月最終木曜日（センター長、サビ管、ホーム職員）
世話人会議	1	不定期（センター長、サビ管、世話人）

＊その他 虐待防止の仕組み作り検討委員会 9回
 グループホーム運営検討委員会 10回
 所属長会議（センター長）、市内施設長会議（センター長）
 サービス向上委員会（主任、他）、個別支援計画会議（主任以下）
 家族会（毎月1回、各ホームにて実施）
 自立支援協議会関係会議（センター長）

相談支援事業所みらい

1. 利用状況（平成 28 年 3 月 31 日現在）

・ 計画相談支援事業	契約件数	法人内 87 件
		法人外 65 件
・ 障害児相談支援事業	契約件数	法人外 6 件
・ 地域移行、地域定着支援事業	契約件数	0 件

2. 職員体制等

常勤職員：管理者(1) 相談支援専門員 (2)
非常勤職員：相談支援専門員(1) 事務員 (1)

3. 支援内容の一例

- ・ 計画相談支援、障害児相談支援における、サービスの調整
- ・ 相談者の不安軽減の為に、面談の実施
- ・ 障害基礎年金、難病申請などの申請の支援
- ・ 障害児入所施設からの移行支援 など…

4. 広報

【支援センターみらい通信の発行】

支援センターの活動内容を、ご家族や関係者などに知って頂くことを目的に、3回発行した。

	号	発行日	部数
1	第 10 号	4/20	450 部
2	第 11 号	11/19	450 部
3	第 12 号	3/1	450 部

5. 苦情対応

施設運営及び事業実施に関する苦情等を調整・解決をする窓口として、苦情受付担当者を1名配置。苦情は、意見箱をはじめ家族会の場でも受け付けている。

6. 委託事業

スポーツレクレーション事業（豊中市生活アシスタント事業）

内 容：音楽レクレーション

委託先：NPO 法人ゴールデンベル

実 績：12 回実施（月 1 回） 延べ参加人数…307 人

7. 職員研修・会議等

【職員研修】

- ・事業計画に基づき、特定の職員に偏らず、また人権関連から専門的研修まで幅広い分野を対象に、研修実施に努めた。

日にち	研修名	主催	テーマ等	場所/会場	参加者
5/22 6/5 6/16	平成 27 年度大阪府相談 支援従事者専門コース 別研修	大阪府障がい 者自立支援セ ンター	高次脳機能 障がい支援	大阪府庁新別館南館 大阪府急性期・総合 医療センター	山田
7/14	難病研修会	豊中市保健所	難病『グリーフ ケア』について	豊中市保健所	山田
9/11	わかりやすい障害年金 入門	豊中市障害者 基幹相談支援 センター		豊中市障害福祉セン ターひまわり	内海 山田 小松
10/31	自閉症児者の生活と医 療	ピープルウォ ーク		豊中市障害福祉セン ターひまわり	内海 山田
1/15 1/26	平成 27 年度大阪府相談 支援従事者専門コース 別研修	大阪府障がい 者自立支援セ ンター	地域移行・地域 定着支援		内海
1/26	第 2 回障がい支援区分 認定調査員研修	大阪府		赤十字会館	山田
2/19	ひきこもりの支援のた めの勉強会	豊中市保健所	CRAFT プログラ ム	豊中市保健所	内海
2/25	高次脳機能障がい者が 地域社会とつながるた めに ～医療・福祉・地域から の検証～	大阪府高次脳 機能障がい支 援普及支援事 業 豊能圏域地域 支援ネットワ ーク会議		池田市民文化会館	内海

3/10	顧問弁護士を囲む勉強会 「医療同意と死後事務への対応について」	一般社団法人 大阪知的障害者福祉協会		大阪府社会福祉会館	内海
3/12	「気づいて、みんなで支えたい」 ～神経発達症（発達障害）のある子どもたちの理解と支援～	大阪府発達障がい者支援センター		大阪市立住まい情報センター	内海

※その他、法人内研修に2回参加

【会議等】

会議名	回数	開催期日、構成員等
運営会議	12	毎月1回（センター長・主任）
職員会議	12	毎月第1火曜日（センター長、主任、相談職員）

*その他 所属長会議（センター長）、市内施設長会議（センター長）
えん全体会（毎月1回）、サービス向上委員会（主任、他）

ヘルパーステーションあしすと（居宅介護・重度訪問介護・移動支援）

1. 利用状況（平成28年3月31日現在）

① 平成27年度利用実績（ ）内は昨年度実績

	移動支援事業		居宅介護事業	
	件数	時間	件数	時間
4月	34 (33)	318.5 (345.5)	14 (8)	131 (110)
5月	35 (36)	377.5 (361.5)	13 (11)	199 (100.5)
6月	36 (31)	412 (401.5)	14 (12)	113.5 (125.5)
7月	37 (34)	443.5 (363)	11 (11)	141 (124.5)
8月	40 (31)	507 (362.5)	12 (10)	182 (124.5)
9月	42 (32)	541.5 (339)	13 (11)	159 (127.5)
10月	44 (32)	540.5 (350.5)	11 (10)	138.5 (133)

11月	41 (38)	505.5 (301.5)	8 (13)	143.5 (119.5)
12月	39 (38)	487.5 (369.5)	11 (12)	165.5 (172)
1月	40 (34)	455 (321)	10 (13)	163 (119.5)
2月	41 (32)	480.5 (283.5)	13 (13)	125.5 (129.5)
3月	43 (34)	523.5 (333)	11 (10)	151 (112)
計	471 (405)	5590.5 (4132)	141 (134)	1814 (1498)

② 利用契約者数

○移動支援…75名（昨年度比+13名）

○居宅介護…30名（昨年度比+4名）

2. 職員体制等

常勤職員：管理者(1) サービス提供責任者(1)

非常勤職員：サービス提供責任者(1) 事務員(1)

登録ヘルパー（60名、昨年度比+9名）

3. 広報

【支援センターみらい通信の発行】

支援センターの活動内容を、ご家族や関係者などに知って頂くことを目的に、3回発行した。

	号	発行日	部数
1	第10号	4/20	450部
2	第11号	11/19	450部
3	第12号	3/1	450部

4. 苦情対応

施設運営及び事業実施に関する苦情等を調整・解決をする窓口として、苦情受付担当者を1名配置。

申出者	苦情内容要旨	対応
ご家族	ガイド支援時の「療育手帳・財布が戻ってない。」と3日後に別支援で訪問したヘルパーに申し出があった。	連絡を受け、支援したヘルパーに確認した所、「支援開始時に入っていたポケットに戻した」と判明。申出人に謝罪し説明を行った。 今後、預かりもの等は支援開始時と終了時

		に必ずご本人、ご家族に確認してもらう事にした。
ご家族	ガイド支援予定の時間になってもヘルパーが来ない。	連絡を受け、当日支援予定のヘルパーに連絡を入れた所、支援を忘れていたとの事。母親に謝罪し、時間をもらえば他のヘルパーを手配すると伝えると、ご本人がすでに出かける気分になっているので待てないため、本日はキャンセルにし、別の日に振り替える事となった。
ご家族	ガイド支援時間、1時間以上前にヘルパーが近所で待っている。近所に迷惑がかかっては困る。	連絡を受け、サビ責が待っているヘルパーに連絡を入れると母親に伝えたが、母親より「玄関で待ってもらうのは大丈夫」と言って頂き、そのようにさせてもらった。ヘルパーとしては、初めて訪問する家だったので早めに行って確認しようとしたが、利用者がたまたま外にいて見つかってしまったとの事。今後は、支援時間より早く来た際は、離れた場所で待機するよう指導した。
ご家族	いつもは駅まで母親が送って、そこでヘルパーと待ち合わせしているが、本日は膝痛があるため、自宅まで迎えに来てくれるように頼んでいた。しかし、ヘルパーが来ない、連絡してもらっているのか。	連絡を受けすぐにサビ責よりヘルパーに自宅の方に迎えに行ってもらった。途中でご本人、母親に会う事ができ、支援を開始した。その後すぐにサビ責より母親へ謝罪の電話を入れた。(前日に母親より迎えの要請を受けていたが、サビ責がヘルパーに連絡する事を忘れていた)

5. 職員研修・会議等

【職員研修】

法人内研修に2回参加

【会議等】

会 議 名	回数	開催期日、構成員等
運営会議	12	毎月1回（センター長・主任）
職員会議	12	毎月第1火曜日（センター長、主任、職員）
ヘルパー連絡会	2	8月21日・12月18日 （センター長、サービス提供責任者、主任、ヘルパー）

- *その他 虐待防止の仕組み作り検討委員会 9回
 グループホーム運営検討委員会 10回
 所属長会議（センター長）、市内施設長会議（センター長）
 サービス向上委員会(主任、他)